



『徳島県遺族会の歩み』を開催

第10回特別企画展

徳島県戦没者記念館「あしたへ」



一般財団法人
徳島県遺族会

会報

発行所
徳島市雑賀町 東開21番地1
一般財団法人
徳島県遺族会
TEL (088) 636-3212
FAX (088) 636-3213
<http://izokukai.jp/>
発行責任者
増矢 稔
印刷
グランド印刷(株)

徳島県遺族会は昭和二十六年十二月の創立以来、英霊顕彰、遺族の福祉増進、戦争史実の継承等について、地道な活動を長年継続し、一歩ずつながら、着実にその成果を上げてまいりました。本会の活動の経過は困難の連続であったといえますが、各時代に残してきた足跡は、会員の皆様の努力のおかげであります。平成十三年三月には、戦後直後から苦難の道を歩んできた遺族会活動の歴史を記した五十周年記

念誌を発刊し、その後も、徳島県護国神社の移転、徳島県戦没者記念館の建設、戦没者を見送った家族像の建立など、様々な事業を企画、実施してまいりました。

今年、本会が七十周年を迎えるにあたり、徳島県遺族会の七十年間の歩みを皆様にご紹介し、先人の努力の証と、戦争の事実・平和の尊さについて語り継ぐ一助とするため、二月十一日(木)から三月十四日(日)まで、徳島県戦没者記念館「あしたへ」におきまして、第十回特別企画展『徳島県遺族会の歩み』を開催いたしました。

本特別企画展では、遺族会活動のこれまでの七十年間の歴史(年表)を中心に、遺族会館の建設、沖繩「徳島の塔」の建立、遺骨収集、海外戦跡巡拝、父の像の建立、チャリティショー、護国神社の移転、戦没者記

念館の建設、戦没者を見送った家族像の建立等の事業を、当時の写真を交えながら紹介し、来場された方々の中には、当時を思いだして懐かしがられる方もおられました。今後とも記念館では、戦争に関わる事実を、広く正しく語り継いでいくために、工夫を凝らした展示を企画してまいります。

会員の皆様も、機会をとらえて足をお運びいただきますとともに、会員以外の方々へのお声かけもお願いいたします。



語り部事業のご案内

徳島県戦没者記念館にて毎月第2土曜日開催 (13:30 ~ 14:30)

3月13日(土)・4月10日(土)は延期

(新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為)

5月以降の語り部についてはホームページにて開催の有無を掲載いたしますので、ご確認をお願いします。

携帯電話のバーコードリーダーで右のQRコードを読み込んで下さい。



第6回「平和作文コンクール」優秀賞作文

平和学習で学んだこと

阿南市立阿南第一中学校 三年 田中 大賀さん



昨年、修学旅行で沖縄を訪れました。そこでは太平洋戦争のことはもちろん、語り部さんのお話も伺うことができました。そこで学んだのは、まず戦争がどれほど大きなものだったかということ。沖縄出身者では十二万人の人が亡くなり、徳島県でも三万人の人が亡くなったそうです。僕は思わず言葉を失いました。

次に、あたりまえではないということ。そのことは、実際に長期の休校を経験して、改めて思いしらされました。普段通りに学校に通えず、部活もできず、友達とも会えず本当にしんどい日々だったからです。戦争中はおもっとひどく食事もまともに取れない日々だったそうです。

戦争の話

南部中学校 二年 青黄 未悠さん



僕たちはこのようなことを経験したからこそこれまで以上に「あたりまえは幸せだ」と感じるようになりました。日々学校に通っている、嫌なことや面倒なことなどがあるけれど、学校に通えているというだけで幸せなのです。戦争中は勉強をたくたくでもできず、運動をたくたくでもできない。そんな状況を考えると、いかにあたりまえは幸せなのだということをお話聞くことも難しくなってきました。

今僕たちは、そのような時を耐えて生きぬいた人の努力で、戦争のない時代に生まれることができました。戦後七十五年が経ち、戦争を経験した方たちも高齢になってきていて、実際にお話を聞くことも難しくなってきました。

徳島大空襲のお話を聞いて一番思ったことは、「おじいちゃんも、戦争の話をしてくれたとき、同じようなこと言っていたな。」ということでした。

私の祖父母は徳島大空襲にあいました。そのときのことは、今でも覚えていっていると聞いています。私が小学校二年生のころ、徳島について調べることになったとき、空襲のことについて聞いてみたことがあります。でも幼かった私には難しすぎて、理解しきれませんでした。話をしてくれたときの祖父は真剣な顔をしていました。紙などた

くさんのものを使って私に分るように教えてくれました。祖父は「このことを忘れちゃいけない。」と何度も言っていました。どんなにこわくても目をそらしちゃいけない。過去は変わらないから。若い世代の私たちに、このことを後に伝えていってほしいと祖父も他の戦争の話の中でも言っていました。

私の祖父は四年前に病気で亡くなってしまいました。戦争を経験した人たちはどんどん減っていき、その記憶はうすらいでいっています。私はまだ、戦争の話を聞いたりするのと、こわくて目をつぶったり、耳をふさいだりしてしまうときがあります。でも、少しずつでもいいから、ちゃんと目を向けようと思います。そしてこれからの未来のことについても、責任を持って考えていきたいと思っています。

支部だより

「吉野川市 地域忠魂碑に 献花追悼」

吉野川市では、原井敬市長が令和二年十一月二十一日、市内十地区十一ヶ所に建てられている忠魂碑を二時間余りかけて巡られ献花を行いました。

各地区遺族も全体で百五十名の会員が分散参列し、白菊を捧げ、先の日清・日露・太平洋戦争で犠牲となられた方々を追悼いたしました。

吉野川市は、令和二年度も例年同様十一月に戦没者追悼式を山川町アメリテイーセンターで遺族参列者三百名規模及び市内中学校生徒代表にも参加を頂いて開催予定で進めていきましたが、コロナウイルス感染者の拡大が強まったため、関係者と相談し中止といたしました。そして、代替行事として参列者の人員を減らして忠魂碑に献花・戦没者追悼行事といたしました。

吉野川市遺族連合会

会長 市原 英俊



祝百歳

岡 芳子さん (徳島市)



徳島市佐古五番町の岡芳子さんが2月13日、お元気で百歳の御誕生を迎えられました。

芳子さんの夫は昭和20年7月ビルマ(現・ミャンマー)で戦死されました。

24才、若くして夫を亡くされてからは洋裁・編物教室で生計を営み一人娘さんを女手一つでお育てになられ、娘さんが同市内に嫁がれてからはお一人暮でしたが、往年には日本舞踊からフラダンス、茶道、華道、手芸等、多趣味で、シルバー大学にも通った、何よりも旅行が好きで実のお姉さんといつも一緒に70才半ば頃まで国内外の旅を楽しんで過ごしてこられました。

その後デイサービスに通っておりましたが、3年前97才から市内のグループホームで元気で過ごされております。(因に、芳子さんは4人兄妹の末っ子ですが長子の兄も104歳までご長寿でした。) コロナ禍の為、ご本人とはお会い出来ませんでしたが、徳島県遺族会の祝状と記念品は娘さんご夫妻がご実家にお越し下さりお受け取り頂きました。

「これからもお元気で・・・宜しく御伝え下さい」と御伝言を受け取って頂きました。

徳島市遺族連合会会長 上浦 喜代志

京谷 ハナ子さん (那賀町)



那賀町水崎の京谷ハナ子さんが、1月25日に百歳のお誕生日を迎えられました。

徳島県と那賀町から、それぞれお祝い状と祝い金が、また、徳島県遺族会からも

お祝い状と記念品が贈られました。

ハナ子さんは大正10年生まれで、昭和19年4月に戦争で義弟を亡くし、家族の要として頑張っておられました。

現在は、那賀町内の特別養護老人ホームに入所され、元気に過ごされております。

同じ町内に息子様ご夫婦がおいでるので、ハナ子さんは心強くまた、面会を楽しみにしておられます。

現在は新型コロナウイルス感染拡大のため、面会はなかなかできません。家族も収束を願っています。

これからもお元気で過ごされますよう、会員一同心よりご祈念申し上げます。

上那賀地区遺族会会長 府殿 長治

戦没者記念館だより — 写真展示数 8,106柱 (R3.2.28 現在) —

令和2年4月から令和3年2月までのアンケート調査結果については以下のとおり。(対象者203名)

▶ アンケート概要

- ①【来館のきっかけ】は、「家族」25%、「遺族会」が19%、「新聞」が12%。
- ②【来館の目的】は、「展示の観覧」32%、「遺影を見るため」22%。「学習・教養を深めるため」16%。
- ③【来館されての感想】は、「非常に満足した」が52%、「満足した」が44%と、両方を足すと96%。
- ④【来館者の年齢等】は「70歳代」19%、「50歳代」18%、「40歳代」17%、「60歳代」13%、「20歳未満」「30歳代」10%、「80歳以上」9%、「20歳代」4%、の順。来館者の遺族の割合は49%。

▶ 来館者の感想等 (自由意見: 20の意見から抜粋)

- ・もっと私たちの若い世代の方に知って観てほしいなと感じました。友人に伝えたいと思います。(20代女性)
- ・各地の護国神社をおまいりしています。立派な記念館があって感激しました。(50代男性)
- ・戦争で亡くなった父の写真と伯父さんに会うことができました。子供のころの苦勞を思い出しまし

た。父の写真に向かって「頑張っておきているよ。」と伝えました。「父さん。弱かった私を母は大切に育ててくれました。本当に生まれてきて良かったと思っています。また父さんの写真に会いにきます。私が頑張っていること、天国から見てくださいね。」(80代女性)

- ・おじに逢うためにここに来ると、心が穏やかになります。また逢いに来たらね。安らかに。(60代女性)
- ・英霊のことを知るために訪れました。私の出身地でも多くの方々が戦死されているのを知り、思わず合掌。今後ともこの活動を伝えてください。(70代男性)

ホームページ随時更新中!!

アクセス数 107,905 (R3.2.28現在)

各種行事、記念館の語り部事業、慰霊巡拝等の最新の情報をお知らせしています。

携帯・パソコンで **徳島県遺族会**

もしくは **徳島県戦没者記念館** と入力

ホームページのアドレス

URL <http://izokukai.jp/>

携帯電話のバーコードリーダーで

下記QRコードを読み込んで下さい。



厚生労働省主催 海外慰霊巡拝のお知らせ

厚生労働省主催による令和三年度慰霊巡拝の参加者を募集しております。関係地域のご遺族で参加希望の方は徳島県保健福祉政策課（電話088-621-2170／直通）までお申し込み下さい。

■実地地域・日程等

下表一覧のとおり

■参加資格

実施地域での戦没者の遺族

- ・戦没者の配偶者、父母、子、兄弟姉妹、参加遺族（子・兄弟姉妹）の配偶者

戦没者の孫、戦没者の甥・姪

- ・長旅の旅行及び現地の気候風土に耐えられる方（内定後医師の診断書を提出して頂きます。）

- ・介助者の同行

（身体の一部に不自由があり、介助者が同行することにより参加が可能になる場合は、家族等介助者としてふさわしいものの同行を認めます。）

※実施時期・期間等は、相手国の都合等により変更することがあります。

※参加費用（実費）の目安は、海外地域の場合はおおよそ二十万円～三十五万円、硫黄島の場合はおおよそ二万円～三万円です。参加する遺族代表に旅費の三分の一相当額の補助金が政府から支給されますが、介助者として参加される方には補助金はありません。

令和3年度 慰霊巡拝概要

	実施地域名	実施予定時期	実施期間	募集予定人員	内申締切日	
1	カザフスタン共和国	8月24日（火）～9月4日（土）	12日間	15名	5月14日	（金）
2	イルクーツク州・ブリヤート共和国	9月13日（月）～9月24日（金）	12日間	15名	6月4日	（金）
3	ハバロフスク地方・ユダヤ自治州	9月13日（月）～9月24日（金）	12日間	15名	6月4日	（金）
4	インドネシア	9月1日（水）～9月9日（木）	9日間	15名	4月23日	（金）
5	中国東北地方（旧満州地区全域）	9月1日（水）～9月10日（金）	10日間	15名	5月21日	（金）
6	東部ニューギニア	9月11日（土）～9月18日（土）	8日間	20名	5月14日	（金）
7	北ボルネオ	9月22日（水）～9月29日（水）	8日間	15名	5月14日	（金）
8	ビスマーク諸島	10月9日（土）～10月16日（土）	8日間	10名	6月11日	（金）
9	トラック諸島	10月22日（金）～10月27日（水）	6日間	15名	6月22日	（火）
10	ミャンマー	11月11日（木）～11月19日（金）	9日間	15名	6月22日	（火）
11	フィリピン（1班）	2月17日（木）～2月24日（木）	8日間	80名	9月14日	（火）
	フィリピン（2班）					
	フィリピン（3班）					
12	硫黄島（1次）	11月中旬	2日間	100名	—	—
13	硫黄島（2次）	3月中旬	2日間	100名	—	—

沖縄県

「平和祈願慰霊大行進」

参加者募集

一、実施期間

令和三年六月二十二日（火）～

二十四日（木）【二泊三日】

二、参加資格及び留意点

①全戦域における戦没者の遺族

ご家族、孫・ひ孫等の若い世代の方（青年部）もご参加お待ちしております。

②八・五kmの道程を行進できる心身ともに健康な方。

三、参加費用

三万五千円～四万円程度（那覇空港までの往復交通費、那覇空港から集合場所となる那覇市内のホテルまでの往復交通費は個人負担となりますので、各自でお手配下さい。）

四、申込方法

令和三年四月三十日（金）までに県遺族会事務局へ

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によつては開催中止となる可能性もあります。

父の像「背面石碑」の修復

徳島中央公園内に建立されている「父の像」は、昭和四十八年に制作されてから長期間経過し、その「背面石碑」が雨水の浸食等により一部剥離、剥落している状況であったため、本会におきまして令和二年度の事業として改修工事を行いました。

工事では、これまで清掃で除去が困難であった錆汚れを取り除くとともに、石碑の剥離防止のための石工事や破断部修復、目地埋め等の作業を行い、今後も安全に、人々がこの像と共に、平和について静かに対話できる環境を整えることができました。

徳島中央公園にお越しの際は、修復された「父の像」に、是非お立ち寄りください。



↑修復工事後



←修復工事中

第十一回特別弔慰金請求手続きについて

令和五年三月三十一日までに請求ください。

支給対象となる方

令和二年四月一日（基準日）において、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等を受ける方（戦没者等の妻や父母）がない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に特別弔慰金が支給されます。

戦没者等の死亡当時のご遺族で

- 一 令和二年四月一日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
 - 二 戦没者等の子
 - 三 戦没者等の①父母、②孫、③祖父母、④兄弟姉妹
 - ※戦没者等の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。
 - 四 前記一から三以外の戦没者等の三親等内の親族（甥、姪等）
- ※戦没者等の死亡時まで引き続き一年以上の生計関係を有していた方に限ります。
 ※請求手続きの簡素化のため「同意書」が廃止されたので、同順位の方が複数いる場合は、話し合いのうえ、代表して請求する方を決めてください。

支給内容

額面二十五万円、五年償還の記名国債

請求期間

令和二年四月一日から令和五年三月三十一日まで

請求窓口

お住まいの市町村の援護担当課（請求窓口一覧は五月号に記載）

【請求窓口・問い合わせ先】

市町村名	担当部課	電話番号
徳島市	保健福祉部 保健福祉政策課	(088)621-5562
鳴門市	市民環境部 市民協働推進課	(088)684-1140
小松島市	市民環境部 市民生活課	(0885)32-2132
阿南市	市民部 市民生活課	(0884)22-1116
吉野川市	健康福祉部 社会福祉課	(0883)22-2261
阿波市	健康福祉部 社会福祉課	(0883)36-6811
美馬市	保険福祉部 生活福祉課	(0883)52-5604
三好市	環境福祉部 地域福祉課	(0883)72-7647
勝浦町	福祉課	(0885)42-1502
上勝町	住民課	(0885)46-0111
佐那河内村	住民税務課	(088)679-2114
石井町	福祉生活課	(088)674-1116
神山町	健康福祉課	(088)676-1114
那賀町	保健医療福祉課	(0884)62-1141
牟岐町	住民福祉課	(0884)72-3416
美波町	住民生活課	(0884)77-3613
海陽町	福祉人権課	(0884)73-4313
松茂町	長寿社会課	(088)699-2190
北島町	民生児童課	(088)698-9802
藍住町	福祉課	(088)637-3114
板野町	住民課	(088)672-5985
上板町	福祉保健課	(088)694-6810
つるぎ町	福祉課	(0883)62-3116
東みよし町	福祉課	(0883)82-6306

遺族会会員の皆様へ 購入のご案内 徳島県遺族会

「七十周年記念誌―あしたへII―」

頒布中

一、内容

徳島県遺族会は昭和二十六年十二月の創立以来、英霊顕彰、遺族の福祉増進、戦争史実の伝承等について地道な活動を長年継続し、歩みを進めて参りました。

特に、五十周年記念誌を発行した平成十三年以降における本会を巡る状況や活動経過については、徳島県護国神社の移転、徳島県戦没者記念館の建設、特別展や語り部事業の実施、戦没者を見送った家族像の建立、そして出征を見送る家族の像の奉納など、大きな取組みがなされております。

「七十周年記念誌―あしたへII―」は、当会が今年創立七十周年を迎えるにあたり、これらの活動経過を記録するとともに、取り組んだ事業やその成果を広く伝えるための内容となっております。

二、「七十周年記念誌―あしたへII―」の特徴

- ① 徳島県遺族会五十周年記念誌発行以降の事業記録が基本。(記念館に掲示されている御英霊のお名前をはじめ、護国神社移転の際の寄付者名簿(石碑より)、また会員からの寄稿文なども掲載。)
- ② 五十周年記念誌の章立てや装丁を引き継ぐことにより、両誌の統一性を図り、両誌を併せて本会の歴史を辿ることができるよう編集。

三、購入のご案内

- ① 一冊当たり 一千七百円(税込)
- ② 総ページ数 三百四十七ページ
- ③ 発行の時期 令和三年三月十二日発行
- ④ 申込み方法 徳島県遺族会事務局まで
(電話088-636-3212)



令和3年度

「徳島県戦没者追悼式」

の開催予定について

日時 令和3年8月24日(火)
13:00 ~ 15:00

場所 徳島市藍場町二丁目14番地
あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

※正式には、新年度に組織する実行委員会において決定します。

徳島県遺族会会報第206号 掲載記事の訂正とお詫び

徳島県遺族会会報第206号(令和3年1月10日発行)の掲載記事の中に誤りがありましたので、次のとおり訂正し、お詫びを申し上げます。

6ページ「令和3年度徳島県遺族会主要行事予定」に記載している、予定している行事名に誤りがありました。

誤った内容	正しい内容
・徳島県戦没者遺族大会	・徳島県戦没者追悼式

なお、正式な行事名や行事内容につきましては、理事会での決定事項となります。

遺族会の動き

令和三年一月～令和三年二月行事

- (一月)
 - 9日 正副会長会(護国神社) ※延期
 - 語り部事業(戦没者記念館) ※延期
 - 70周年記念誌座談会(護国神社)
 - 26日 日本遺族会事務局長会議(靖国会館) ※中止
 - 27日 日本遺族会青年部長会議(靖国会館) ※中止
 - 28日 日本遺族会女性部長会議(靖国会館) ※中止
 - 海外慰霊巡拝(台湾・パシール海峡) ※中止
- (二月)
 - 6日～8日 日本遺族会青年部研修会(鹿児島県内) ※中止
 - 11日～3月14日 第10回特別企画展(戦没者記念館)
 - 13日 語り部事業(戦没者記念館) ※延期
 - 17日 正副会長会(護国神社)
 - 父の像清掃・第5ブロック(徳島市中央公園) ※延期
 - 19日 日本遺族会理事会(東京) ※延期
 - 25日 理事・監事・評議員等研修会(護国神社) ※中止

令和三年三月～令和三年五月行事予定

- ※新型コロナウイルス感染症対策のため変更となる場合があります。
- (三月)
 - 5日 正副会長会、記念館運営企画委員会(護国神社)
 - 13日 第九回70周年記念誌発行小委員会(護国神社)
 - 13日 語り部事業(戦没者記念館) ※延期
 - 22日 日本遺族会理事会(東京)
 - 理事会(護国神社)
 - 28日～30日 春の靖国神社参拝(靖国神社他) ※中止
- (四月)
 - 10日 語り部事業(戦没者記念館) ※延期
 - 下旬 市町村遺族会事務局長会議(護国神社)
 - 23日 英霊にこたえる会総会等(グランドヒル市ヶ谷)
 - 下旬 女性部役員会(護国神社)
 - 下旬 青年部役員会(護国神社)
 - 30日 役員等研修会(徳島グランヴィリオホテル)
- (五月)
 - 8日 語り部事業(戦没者記念館)
 - 父の像清掃・第1ブロック(徳島市中央公園)
 - 下旬 日本遺族会女性部長会議(千代田会館)
 - 下旬 日本遺族会青年部長会議(千代田会館)
 - 下旬 日本遺族会理事会(千代田会館)
 - 25日 正副会長会(護国神社)